

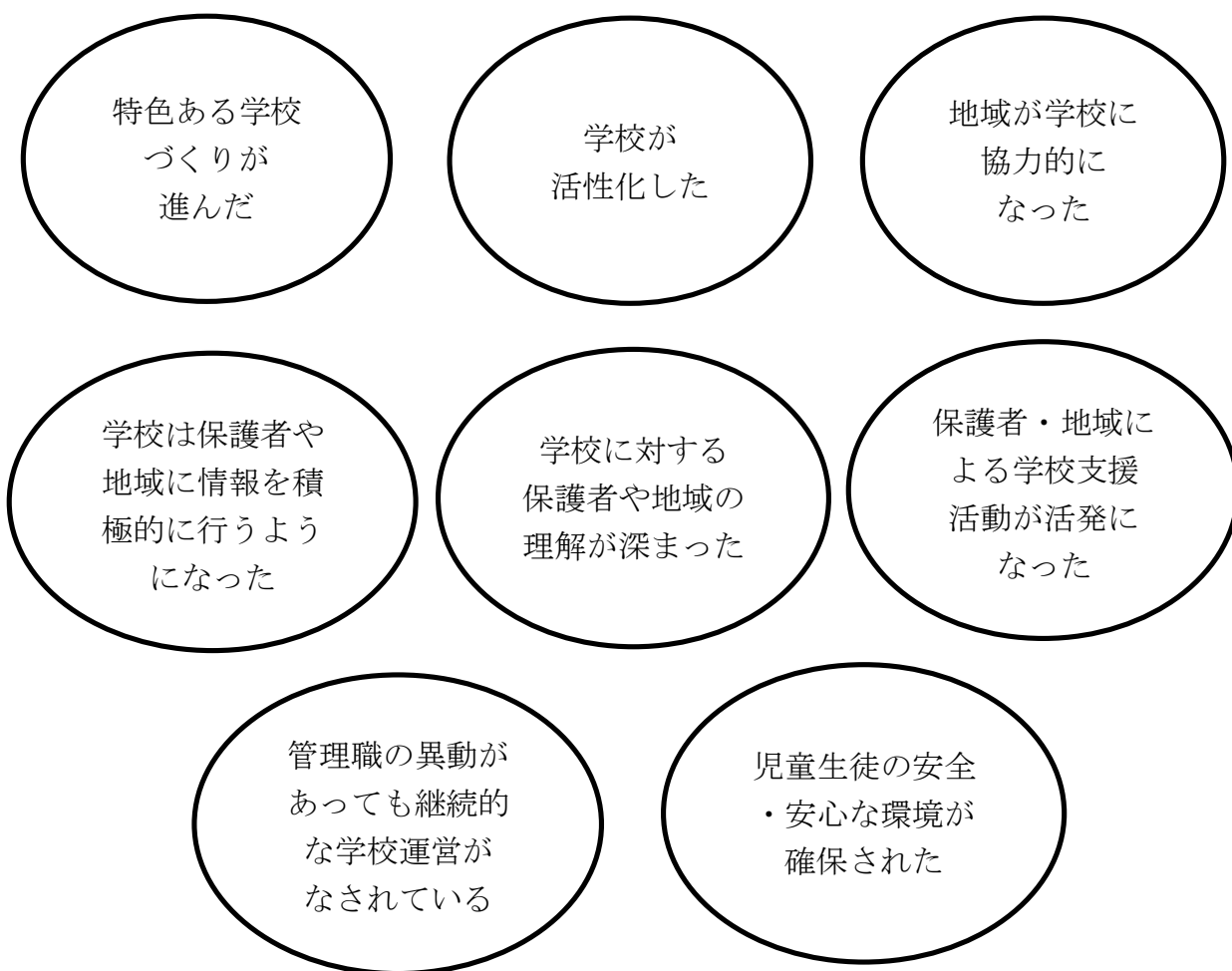
# 学校応援団だより No.6

## なぜ学校応援団の活動を行うのか

全国多くの学校で、原小・中学校応援団のように、地域や保護者の方に協力をいただく中での学校活動が実施されています。そして、この活動が充実していくことで、学校、応援団双方にメリットが見えてきています。

長野県の全学校での現状を長野大学早坂教授がまとめ、以下のような成果につながっているとの報告が出されました。

### 【そう思う・どちらかといえばそう思う の割合が80%を超えた内容】



学校応援団の活動が進むと、多くのメリットがあることが示されています。原小・中学校においても、少しずつ同様の成果が現れてきていると思われますし、今後は、さらにその割合が大きくなるよう、活動を進めていきます。

# こんな時はどうしますか？

学校に入っていた学校応援団の皆さんはもちろん、先生方も日々の活動の中で「どうすれば良いのか？」判断に悩むことがあります。

以下の場面では、どうすることが望ましいのでしょうか。

○あなたは、小学校料理クラブの手伝いに来ている学校応援団の方です。

生クリームがたっぷり添えられたおいしそうなホットケーキができあがり、みんなで食べています。すると、ある子どもが「おいしくできたから、お家の人に持って帰りたい」と言って食べようとしません。学校では、給食のパンも持ち帰らせていません。どうしますか。

○あなたは、小学校低学年の担任の先生です。

授業中子ども同士でけんかが始まり、授業が成り立たなくなりました。授業の支援をいただいている支援員の方に対応をお願いし、授業を進めようとする、他の子どものけんかが始まってしまいました。どうしますか。

学校では、予想しないようなことが急に起きることがあります。その際、どのような対応をすることが望ましいのでしょうか。子どもの安心・安全を一番に考え、対応に当たっているつもりですが、それが望ましい対応であるのか、悩んでしまうこともあります。同様に、学校応援団の方も、どのような対応をすれば良いのか、悩まれることがあります。

「こんな時どうしますか？」のような事例をみんなで考え合いながら、望ましい対応を確認していきたいと思えます。

ちなみに、ホットケーキの持ち帰りについては、どういった対応が望ましいのでしょうか。給食のパンが持ち帰れないのであれば、当然ホットケーキも持ち帰ってはいけなはずです。しかし、杓子定規の対応が本当に良いのでしょうか。いろいろな正解がありそうです。

原小学校・原中学校では、8月19日より2学期がスタートしました。一人一人がじっくりと学び、充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

諏訪地域の新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが5となり、様々な対応が求められますが、今まで同様に感染症対策を実施する中で、安心・安全な学校生活を送っていききたいと考えています。そのため、学校行事等の参観を中止したり、人数を制限させていただいたりといった対応が必要になり、学校応援団や地域・保護者の皆様に、気軽に学校においでいただけないことが残念です。ご理解いただきませうようお願いいたします。

**連絡・応援団登録は、**

**原小学校 79-2123 (担当 教頭 百瀬)**

**原中学校 79-2455 (担当 教頭 内川)**

**まで、お願いします。**